

編集後記

『中京大学文学会論叢』第六号をお届けする。

今号は、上代、中古の文学、及び、史学研究から、現代まで続く職人の民俗学研究まで、論文六篇を掲載するバラエティに富んだ誌面となった。お忙しい折にご投稿くださった会員の皆様に深謝申し上げる。

着任して三年が過ぎようとしているが、本学を取り巻く環境は大きく急激に変化しており、情けないことに、それらに翻弄されて研究活動の時間を十分に確保することができない状況である。それは他の専任教員として例外ではないだろう。今号は、専任教員の論文の掲載がなかったが、本学の修了生を含め、学部生の意欲的な論文を多数掲載することができた。この六篇の研究成果が、我々会員に勇気を与え、研究活動への強い動機付けとなることを願う。昨年度からは、これまで秋季大会後に行われていた懇親会を、春季大会・秋季大会後の年二回行うこととした。二〇二〇年度春期大会のご案内は、四月以降、改めてお送りするので、今しばらくお待ちいただきたい。本会の発展のために、会員諸士には奮ってご参加いただければ幸いである。

(宮)

中京大学文学会論叢 第六号

(『中京国文学』通号 第三十九号)

令和二年三月十五日 発行

編集兼
発行者 中京大学文学会

代表 福井佳夫

名古屋市昭和区八事本町一〇一ノ二

電話(〇五二)八三五七一一

振替 名古屋 六一六〇〇三〇

印刷所 株式会社 一誠社

名古屋市昭和区下構町二ノ三二

電話(〇五二)八五一一一七

表紙題字(書) 樽本樹郎(英信) 名誉教授